

「多面的・多角的に考えること」

を重点とした道徳科の授業づくり

第2学年 道徳科学習指導案

1 主題名「情報モラルと友情」（内容項目：B-8 友情、信頼）

2 教材名「ゴール」（出典「新しい道徳2」教育出版）

3 主題設定の理由

本主題では、友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、悩みや葛藤などの経験を踏まえながら、人間関係を深めさせることが求められる。

また、自分を取り囲む友達との友情を、より一層大切に育てることが大切である。

本学級の生徒には、三つの小学校から進学し、第1学年を終えた後、学級編成があり、今年度初めて級友になった仲間もいる。半年間で様々な学校行事を経験し、信頼関係や相互理解は徐々に高まりつつあるが、自分が傷つくことを恐れるあまり、時には考えもせずに相手に同調したり、お互いに距離を置きながら生活している様子がみられる。また、仲のよいグループが固定化し、特定の友人のみの関わりが多く、新しい関係の構築が難しい状況にある。さらに、「一緒にいて楽しい」だけの関係であり、お互いを尊重し、高め合うなどの理想的な関係づくりができずに、一緒にいて嫌な思いをしたり、悩みや葛藤が生まれたりしている生徒も多い。本時の学習を通して、友情の尊さを理解し、真の友情を育てていくための一助としたい。

本時の教材「ゴール」は、バスケットボール部に所属する五人の女子中学生の物語である。立場や考え方の違う五人の心情を通して、友情を深めるために大切なことを多面的・多角的に考えることができる。また、タブレット端末を活用し、「よりよい友人関係」を築くために必要な考えを共有・議論することにより、互いの個性を認め、相手を尊重する態度を育てるとともに、生徒自らの友情に対する考えを深める。

4 本時のねらい

登場人物の立場や考え方の違いを通して、友達との関係や信頼関係を築くことの難しさを理解し、友情を深めるために大切なことについて考えることにより、道徳的実践意欲を育てる。

5 本授業のポイント

- ① 登場人物それぞれの考えや立場から、友情について多面的・多角的な視点で考察する。
- ② タブレット端末を活用し、思いや考えを交流・議論することで相互理解を図る。
- ③ 振り返りの場面において、本時の道徳的諸価値に関わる自己の生き方について、考えを深める。

6 本時の展開

	学習活動 ○主な発問 ・予想される児童生徒の発言	留意点や評価の観点 等																		
導入	<p>1 自分の友情に対する考えを確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分にとって友達や仲間とはどのような存在か。 <ul style="list-style-type: none"> ・一緒にいて楽しい ・困った時に助けてくれる 	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点での考えを明確にする。 																		
展開	<p>2 教材を通して考え、話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 五人の心がすれ違った原因がどこにあるか。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分のことをしっかり伝えていない ・仲間外れ ・同調してしまう弱さ ○ 五人のメッセージアプリに、美希が書き込みをした時の気持ちは。 <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで強くなって、試合に勝とう ・誤解してしまって、申し訳ない ・家族が無事でよかった ○ 五人はどのような関係になったと思うか。 <ul style="list-style-type: none"> ・高め合える関係 ・素直に謝れる関係 ・相手を信じることができる関係 ・相手の気持ちに共感できる関係 <p>3 よりよい友人関係を築くために必要なことを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「よりよい友人関係を築くために必要なこと」をダイヤモンドランキング形式で表現しよう。 (個人思考⇒班で共有⇒全体で共有) <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="336 1236 603 1603"> <p>「よりよい友人（人間）関係」を築くために必要と思うこと。</p> <table border="1"> <tr><td>楽しいや、おもしろいことを共有</td><td>ア</td></tr> <tr><td>お互いに敬意を払い、尊重しあう</td><td>イ</td></tr> <tr><td>うそをつかなくて、正直に付き合う</td><td>ウ</td></tr> <tr><td>相手の話にしっかり耳を傾ける</td><td>エ</td></tr> <tr><td>ゲームなときはゲームで言い合える</td><td>オ</td></tr> <tr><td>相手に合わせながら、生活する</td><td>カ</td></tr> <tr><td>互いに励まし合い、協力する</td><td>キ</td></tr> <tr><td>自分の思いをしっかりと伝える</td><td>ク</td></tr> <tr><td>自分の「弱い」部分も知ってもらおう</td><td>ケ</td></tr> </table> </div> <div data-bbox="619 1236 890 1603"> <p>「よりよい友人（人間）関係」を築くために必要と思うこと。</p> <p>班</p> <p>優先順位 高い</p> <p>優先順位 低い</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 他の人の考えを聞いて、気付いたことは何か。 <ul style="list-style-type: none"> ・友人に合わせるだけでなく、自分の考えを伝えることも大事 ・相手を尊重することが大切だと気付いた 	楽しいや、おもしろいことを共有	ア	お互いに敬意を払い、尊重しあう	イ	うそをつかなくて、正直に付き合う	ウ	相手の話にしっかり耳を傾ける	エ	ゲームなときはゲームで言い合える	オ	相手に合わせながら、生活する	カ	互いに励まし合い、協力する	キ	自分の思いをしっかりと伝える	ク	自分の「弱い」部分も知ってもらおう	ケ	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書を範読 ・五人それぞれの心情を通して多面的・多角的に考察する。 ・ロイロノートで自分の考えを提出するとともに、全体で共有する。  <ul style="list-style-type: none"> ・教材を通して考えたことを参考にしてもよいこと、正解はないことを強調する。 ・共有や議論をすることで、様々な見方や考え方があることに気付かせる。 <p>【評価の観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を通し、友情に対する考えが一面的な見方から多面的・多角的な見方に発展している。
楽しいや、おもしろいことを共有	ア																			
お互いに敬意を払い、尊重しあう	イ																			
うそをつかなくて、正直に付き合う	ウ																			
相手の話にしっかり耳を傾ける	エ																			
ゲームなときはゲームで言い合える	オ																			
相手に合わせながら、生活する	カ																			
互いに励まし合い、協力する	キ																			
自分の思いをしっかりと伝える	ク																			
自分の「弱い」部分も知ってもらおう	ケ																			
終末	<p>4 本時の学習を振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分にとって友達や仲間とはどのような存在でいてほしいか。 <ul style="list-style-type: none"> ・高め合える関係 ・お互いに信頼し合える存在 ○ 本時の学習を通して考えたことは何か。 <ul style="list-style-type: none"> ・お互い気持ちを相手に伝えたり、相手を理解したりすることが大切だと感じた ・相手を信頼する気持ちが大切だと思った 																			